

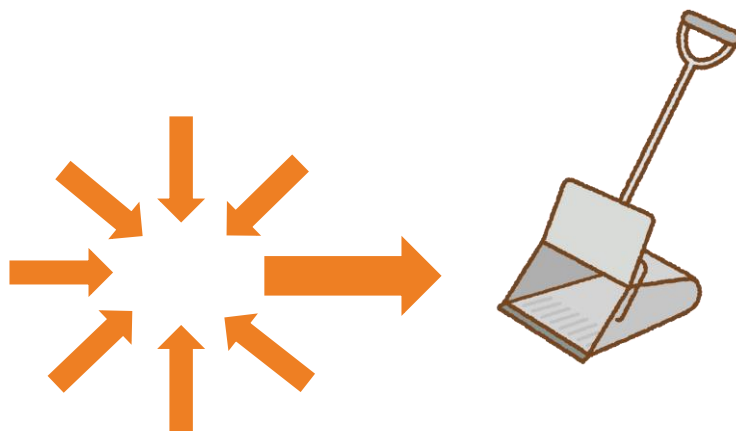
従来のちりとりは入り口が一方方向にしかない



ごみを一度、ちりとりの前に集めてから
ちりとりに入れる必要がある



複数人で掃除する場合などには効率が悪い



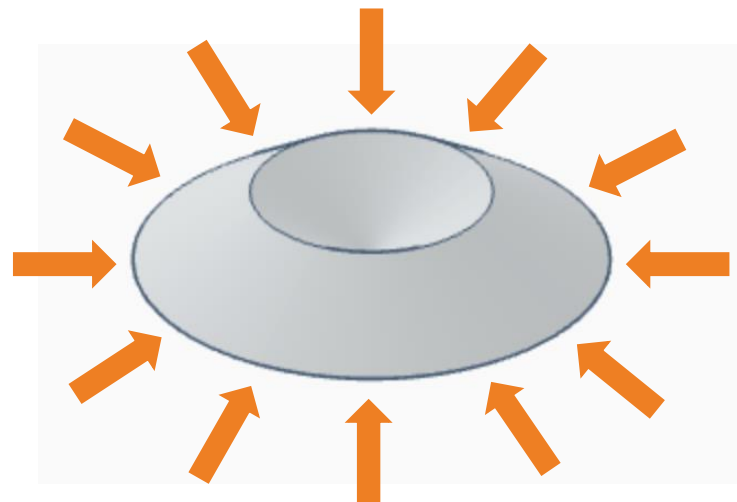
従来：ごみを一度集めてからちりとりに入れる

全方向ちりとり 作品名

従来のちりとりは入り口が一つだけ



全方向からごみを集めることが
できれば効率が良いのでは？



1 類似したアイデアが存在するか

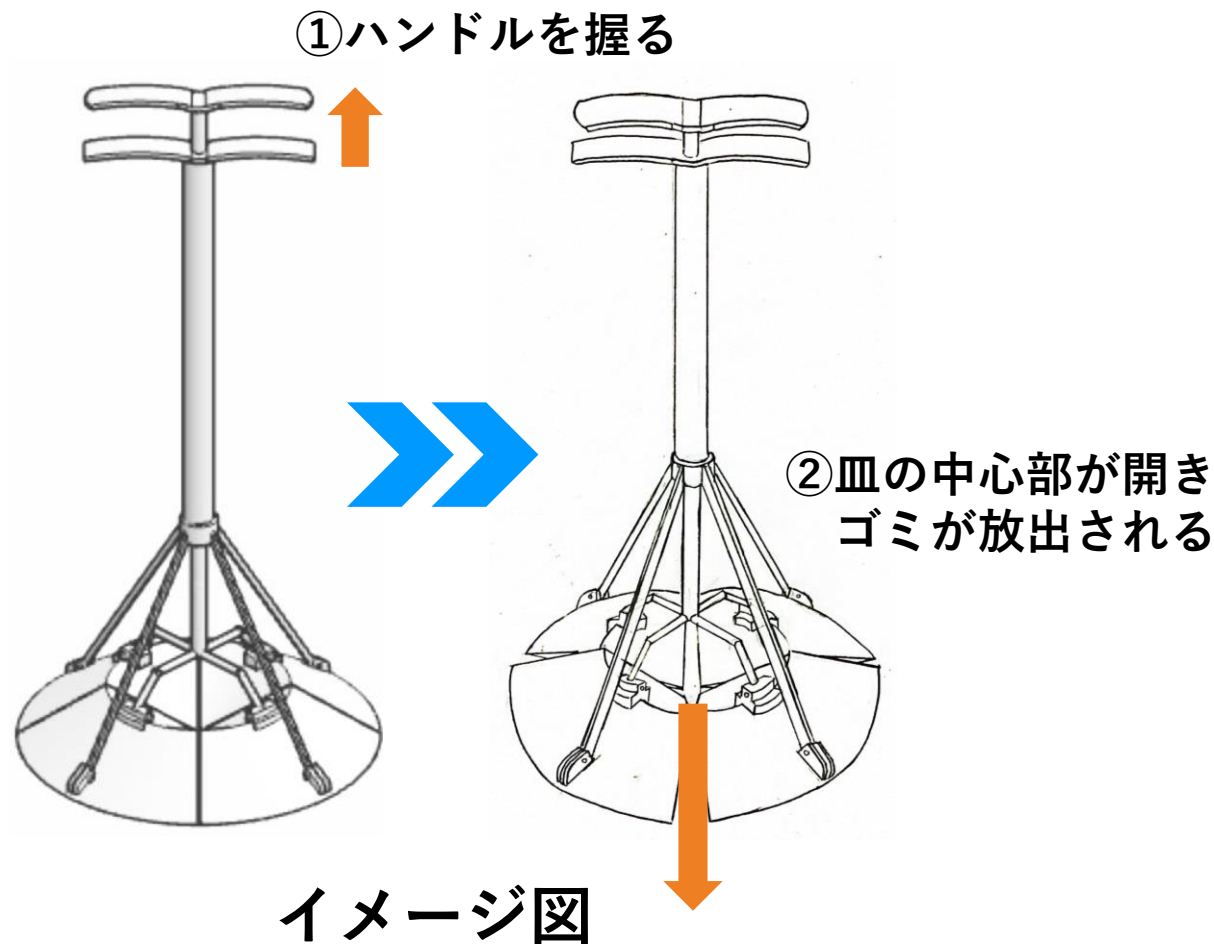
J-Plat Pat（特許情報プラットフォーム）および
Web検索により類似製品の有無を調査

➡ 類似製品はなし

2 日常の中に制作のヒントはないか

➡ 傘が開く機構を応用すれば、
開閉式のちりとりが作れそう

可動式の全方向ちりとりを作成した



↑ 試作品
傘を改造して試作品
を作成した

【受賞について】

まさか受賞するとは思っていなかったため、受賞したと聞いたときはとても驚きました。また、自分たちで考え出したアイデアが評価されたことがとても嬉しかったです。課題を抽出し、その解決策を形にするという経験は、とても貴重な体験になったと感じます。

【来年度の応募者に向けて】

- 日常の中で感じる「こんなものがあったらいいな」というアイデアを大切にし、そのアイデアを頭の中で熟成させていくことが大切だと思います。
- まだ形にされていないアイデアはこの世に沢山あると思うので、可能性は無限大です。

全方向ちりとり

一関工業高等専門学校

千葉奏大、菅原椿、立花昂己、八重樫健成

